

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報基礎 I	指導担当者名	相樂 実紀
実務経験	企業内システムエンジニア・ソフトウェア開発業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT技術者として必要なIT技術の基本知識を身に付ける。</li> <li>・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格の為の知識の習得。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「コンピュータ概論」		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	イントロダクション	コンピュータとは
	2	第1章 コンピュータの基礎知識	コンピュータとの種類と五大装置
	3	第2章 コンピュータの数値表現	コンピュータ内部の情報表現、基数変換
	4	第2章 コンピュータの数値表現	補数、数値表現
	5	第3章 ハードウェア	プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置
	6	第3章 ハードウェア	入出カインタフェース、入出力装置
	7	第4章 システムの構成要素	システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技術
	8	第5章 ソフトウェア	ソフトウェアの分類とOS
	9	第6章 マルチメディア・情報メディア	マルチメディア
	10	第7章 AI(人工知能)	AI(人工知能)、機械学習
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
<p style="margin-left: 20px;">出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない</p> <p style="margin-left: 20px;">対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報基礎Ⅱ	指導担当者名	橋本 友子
実務経験	-	実務経験:	-
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT技術者として必要なIT技術の基本知識を身に付ける。</li> <li>・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格の為の知識の習得。</li> <li>・IT技術を解説するとともに、ソフトウェア開発の現場での応用例や注意事項を実例を交えながら指導する。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席、提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「IT戦略とデータ活用」「システム開発と情報技術」		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	第4章 ユーザインタフェース	ユーザインタフェース
	2	第5章 システム開発技術	システム開発、システム科の開発プロセス、システム要件定義、システム設計
	3	第5章 システム開発技術	ソフトウェア要件定義、ソフトウェア設計、ソフトウェア構築、統合テスト
	4	第5章 システム開発技術	導入・受け入れ支援と保守、ソフトウェア開発手法
	5	第1章 企業と経営戦略	企業活動、経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略、技術開発戦略
	6	第2章 システム戦略 第3章 ビジネスインダストリ(IoT)	企業におけるシステム戦略、情報システムの活用、システム企画、ビジネスインダストリ、eビジネス、組込みシステム、民生機器・産業機器、AI活用
	7	第4章 マネジメント	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、サービスマネジメントシステムの計画及び運用、システム監査
	8	第5章 業務分析・データ活用 第6章 企業会計	応用数学・OR・IE、データ活用 企業会計、財務諸表
	9	第7章 法務と標準化	知的財産権、セキュリティ関連法規、労働法、その他の法規、情報倫理、標準化
	10	練習問題	まとめ練習問題
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報基礎Ⅲ	指導担当者名	香西 梨沙
実務経験	-	実務経験:	-
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習:
単位数	4 単位	総時間	60 時間
週時間数		週時間数	6 時間
学習到達目標	・IT技術者として必要なネットワークとセキュリティの基本知識を身に付ける。 ・情報処理技術者試験(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)合格の為の知識の習得。		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	情報処理試験合格へのパスポート「システム開発と情報技術」		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	第2章第1節 ネットワーク方式	ネットワーク方式、回線に関する計算
	2	第2章第2節 OSI基本参照モデル、第3節 TCP/IPプロトコル	TCP/OSI基本参照モデル、LAN間接続装置、IPプロトコル、各層プロトコル
	3	第2章第4節 IPアドレス	IPアドレス、IPv4アドレス、IPv6アドレス
	4	第2章第5節 ネットワーク管理	IPアドレス管理、PPP、DNS、時刻同期、管理ツール
	5	第2章第6節 TCP/IPアプリケーション、第7節 ネットワーク応用技術	電子メール、Web、VPN、ネットワーク仮想化、音声通信、モバイルシステム
	6	第3章第1節 情報セキュリティ、第2節 システムへの攻撃手法	目的、脅威と脆弱性、不正のメカニズム、攻撃者の種類、攻撃手法
	7	第3章第3節 暗号化技術、第4節 認証技術	暗号化技術、認証技術、利用者認証と認証技術
	8	第3章第5節 セキュリティ技術	セキュアプロトコル、セキュリティ対策
	9	第3章第6節 セキュリティリスク	情報セキュリティリスク、リスクアセスメント、インシデント対応
	10	第3章第7章 セキュリティ管理	情報セキュリティ管理、情報セキュリティ組織・機関、評価基準、セキュリティ対策
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Office I	指導担当者名	香西 梨沙
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフト「Excel」の基本的な利用法を学ぶ。</li> <li>・MOS Excel365合格の為の知識の習得。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	FOM出版 よくわかるマスターMOS Excel365対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	MOS Excel365&2019について概要説明	実施内容・実施方法・試験出題範囲等の説明
	2	ワークシートやブックの管理	ブック内の移動、書式設定、カスタマイズ
	3	ワークシートやブックの管理	共同作業のためのコンテンツ設定、インポートの仕方、確認問題
	4	セルやセル範囲のデータの管理	シートのデータ操作、書式設定
	5	セルやセル範囲のデータの管理	名前付き範囲の定義と参照、データの視覚的まとめ方、確認問題
	6	テーブルとテーブルのデータの管理	テーブルの作成と書式設定、テーブルの変更 テーブルデータのフィルタと並べ替え、確認問題
	7	数式や関数を使用した演算の実行	参照の追加、データの計算と加工 文字列の変更と書式設定、確認問題
	8	グラフの管理	グラフの作成と変更 グラフの書式設定、確認問題
	9	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第1回と第2回模擬試験の実施と解説
	10	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第3回と第4回模擬試験の実施と解説
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
<p>出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない</p> <p>対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	検定対策	指導担当者名	香西 梨沙
実務経験	-	実務経験:	-
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーティファイ「情報処理技術者能力認定試験」合格に向けた演習を行う。</li> <li>・過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験問題集3級		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	2	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	3	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	4	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	5	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	6	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	7	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	8	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	9	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	10	情報処理技術者能力認定試験3級対策	情報処理技術者能力認定試験3級過去問題 弱点部分の解説を行う
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I	指導担当者名	橋本 友子
実務経験	-	実務経験:	-
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間
週時間数			4 時間
学習到達目標	社会人になるためのビジネスマナーを身につける 就職試験に向けた事前準備の実施		
評価方法 評価基準	・提出物、期末試験を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナーテキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	基本動作、言葉遣い	立つ姿勢、お辞儀、椅子の立ち座り、歩き方、表情 正しい言葉遣い、話し方聞き方 敬語
	2	電話対応 電子メールマナー	正しい電話対応 注意点 受け方 電子メール使用の注意点 文例
	3	面接対策	面接について考える
	4	ビジネスマナー基礎	名刺交換、会議への参加、メールの書き方、ビジネスライティング クライアント訪問時のマナー、接待・飲み会への参加、食事のマナー
	5	ビジネスマナー基礎	クレーム・謝罪の対応、ソーシャルメディアのルール、ビジネスマナーのおさらい
	6	仕事に取り組む姿勢	学生と社会人の違い、働くとは、プロとして仕事に取り組む姿勢
	7	社会人としての心得	自己管理、礼儀・マナー、社会人になる前に身に付ける事
	8	社会人の基本マナー	身だしなみ、立ち居振る舞い、表情、言葉遣い、挨拶
	9	職場の規律とエチケット	職場の秩序、コンプライアンス、情報セキュリティ、ハウレンソウ、業務効率を上げる5S
	10	模擬面接練習	模擬面接に向けた面接練習の実施
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Office II	指導担当者名	香西 梨沙
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフト「Word」の基本的な利用法を学ぶ。</li> <li>・MOS Excel365合格の為の知識の習得。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	FOM出版 よくわかるマスターMOS Word365対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	Wordの概要	Wordの起動と終了方法 新しい文書の作成と保存方法、テキストの入力と編集方法
	2	文書の管理	文書内を移動、書式設定、保存共有、検査
	3	文書の管理	確認問題、解説
	4	文字、段落、セクションの挿入書式設定	文字列を挿入・書式設定、セクションを作成、確認問題、解説
	5	表やリストの管理	表を作成・変更、リスト作成・変更
	6	表やリストの管理	確認問題、解説
	7	参考資料の作成と管理	脚注を作成・管理、目次を作成・管理
	8	参考資料の作成と管理	確認問題、解説
	9	文書の共同作業の管理	コメントを追加・管理、変更履歴の管理、確認問題、解説
	10	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第1回と第2回模擬試験の実施と解説
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション技法	指導担当者名	相楽 実紀
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	チームでの情報共有・意見交換を通じて、基本的なコミュニケーション能力を養うとともに、FigmaやCanvaを活用し、分かりやすい資料作成の基礎スキルを習得する。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物(資料・課題成果): 60%</li> <li>・最終発表: 40%</li> </ul>		
使用教材	オリジナルテキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	ガイダンス・チーム編成	授業概要説明、チーム決定、課題提示、役割分担
	2	コミュニケーション基礎	意見交換の方法、合意形成、チーム運用ルールを学ぶ
	3	情報収集	テーマに関する情報を収集・整理する
	4	構成設計	発表内容の構成(導入・本論・まとめ)をチームで設計する
	5	資料作成基礎	Figma / Canvaの基本操作、デザイン原則(配色・レイアウト)
	6	資料作成①	チームでスライド作成(文章・図解)
	7	資料作成②	視認性・分かりやすさを意識したブラッシュアップ
	8	チーム内レビュー	試行発表を行い、相互フィードバックを実施
	9	改善・発表準備	フィードバックを反映し最終調整
	10	最終発表・振り返り	発表実施、講評、チーム活動の振り返り
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ExcelVBA I	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	ExcelVBAのプログラミング手法を習得する		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	学生のためのExcelVBA第2版		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	第1章 マクロとVBA	マクロとVBA、自動記録によるマクロの作成と実行
	2	第2章 VBAによるマクロの作成	VBEの起動・画面構成、簡単なマクロの作成
	3	第3章 VBAの基礎事項	オブジェクト・コレクション・メソッド・プロパティ
	4	第4章 VBAプログラミングの基礎	変数の使い方と計算、セルの選択とコピー
	5	第4章 VBAプログラミングの基礎	分岐処理、繰り返し処理、配列
	6	第5章 ユーザーインターフェース	メッセージボックス、簡単なユーザーフォームの作成
	7	第5章 ユーザーインターフェース	項目を選択するユーザーフォームの作成、配列とArray関数
	8	第6章 シートとブックの取り扱い	ワークシートとブックの取り扱い
	9	第7章 知っている便利な機能	関数の利用、データベース、グラフの作成
	10	第8章 デバッグとエラー処理	デバッグの方法
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策 I	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 24 時間
学習到達目標	業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。		
評価方法 評価基準	各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 ITEC、TAC、インフォテック		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	2	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	3	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	4	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	5	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策 I	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。		
評価方法 評価基準	各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 iTEC、TAC、インフォテック		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD I	指導担当者名	丹治 順一
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	環境設定	Fusion360のインストール
	2	基本操作	Fusion360の基本的な使い方を学ぶ
	3	モデリング	簡単なモデリング方法を学び制作する
	4	モデリング	簡単なモデリング方法を学び制作する
	5	モデリング	簡単なモデリング方法を学び制作する
	6	3Dモデリング	キャラクターを例にして、3Dプリントをすることを想定したモデリングを学び制作する
	7	3Dモデリング	キャラクターを例にして、3Dプリントをすることを想定したモデリングを学び制作する
	8	レンダリング	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出しをする
	9	レンダリング	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出しをする
	10	レンダリング	モデリングしたキャラクターに背景や小物などを追加し、画像の書き出しをする
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD I	指導担当者名	丹治 順一
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	Fusion360の使い方を学び、簡単な3Dモデルを作れるようになる		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	2	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	3	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	4	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	5	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	6	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	7	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	8	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	9	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	10	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Web制作基礎	指導担当者名	本田 昌秀
実務経験	システム開発会社にてシステム開発、ホームページ制作等の業務に10年間従事。独立後ホームページ制作・運用管理を10年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 1年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトの基本構造を理解し、HTMLを用いて見出し、本文、画像、リンクなどの基本要素を作成できる。</li> <li>・CSSによる文字、色、余白、配置などの基本的なデザイン設定を理解し、企画内容に基づいて見やすく使いやすいWebページを制作できる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	制作物を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	Webサイトの基本①	基本構造の理解、HTMLの基本
	2	Webサイトの基本②	CSSの基本
	3	演習課題	課題に従ってHTML&CSSでWebページを作成する
	4	企画	オリジナルWebページの作成にあたり、企画の立案
	5	Webページ制作①	企画内容に基づいたページ構成の検討、必要な情報・素材の整理
	6	Webページ制作②	HTMLによる見出し、本文、画像、リンクなどの基本要素の作成
	7	Webページ制作③	CSSによる文字・色・余白・配置などの基本デザインの設定
	8	Webページ制作④	ページ全体のレイアウト調整、見やすさや使いやすさを意識した修正
	9	Webページ制作⑤	表示確認、リンク確認、誤字脱字やレイアウト崩れの修正、制作物の仕上げ
	10	プレゼン発表	制作したWebページの発表、企画意図・工夫した点・改善点の説明
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ExcelVBA II	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	VBAを使いこなし、業務効率化をするプログラムを作成できる。		
評価方法 評価基準	提出物、制作物を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	学生のためのExcelVBA第2版		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	基礎確認演習	1年次に学習したマクロ記録、VBE操作、基本構文の確認演習
	2	制御構文演習	条件分岐・繰り返し処理を用いた練習問題の作成と実行
	3	プロシージャ演習	変数、引数、関数を組み合わせた処理手順の作成演習
	4	セル操作演習	セル範囲の取得、入力、コピー、書式設定を自動化する演習
	5	シート操作演習	ワークシートの追加・集計・整形を行うVBA演習
	6	データ処理演習	並べ替え、抽出、集計処理をマクロで行う演習
	7	フォーム活用演習	メッセージボックス、入力ボックス、簡単なユーザーフォームの活用演習
	8	デバッグ演習	ステップ実行、変数確認、エラー原因の特定と修正演習
	9	業務改善演習	指定条件に沿って作業効率化マクロを設計・改良する演習
	10	総合演習	複数の処理を組み合わせた総合課題の作成と動作確認
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	OfficeⅢ	指導担当者名	香西 梨沙
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフト「PowerPoint」の基本的な利用法を学ぶ。</li> <li>・MOS Excel365合格の為の知識の習得。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度</li> <li>・章末テスト ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	FOM出版 よくわかるマスターMOS PowerPoint365対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画  前 期	1	プレゼンテーションの管理	プレゼンテーションの表示、オプション変更、印刷設定
	2	プレゼンテーションの管理	スライドショーの設定・実行スライド、配布資料、ノートの変更、共同作業用に準備
	3	スライドの管理	スライドの挿入・変更、並べ替え、グループ化
	4	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定	テキスト書式設定、リンク挿入、図の挿入・書式設定、グラフィック挿入・書式設定
	5	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入	表の挿入・書式設定、グラフの挿入・書式設定、SmartArtの挿入・書式設定
	6	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入	3Dモデルの挿入・書式設定、メディアの挿入・書式設定
	7	画面切り替えやアニメーションの適用	画面切り替えの適用・設定、スライドコンテンツのアニメーション設定
	8	総まとめ	現在までの復習、模擬問題実施用環境構築
	9	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第1回と第2回模擬試験の実施と解説
	10	模擬試験	模擬試験プログラムの使い方の説明、第3回と第4回模擬試験の実施と解説
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
<p>出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない</p> <p>対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Photoshop	指導担当者名	高橋 侑子
実務経験	フリーのグラフィックデザイナーとして10年以上のキャリア		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshopの使い方を習得する</li> <li>・画像編集の基礎や実践的なテクニックを習得する</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	デザインの学校 これからはじめる Photoshopの本		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	Photoshop基礎	環境構築、画面・用語解説
	2	基本操作	トリミング、サイズ変更、保存形式の変更
	3	色補正	明るさ・コントラストの調整、色相・再度調整
	4	レイヤー操作	レイヤーとは、重ね方・順番操作
	5	選択と切り抜き	選択ツール、クイック選択操作
	6	合成技術	切り抜き画像の配置、背景合成
	7	文字と装飾	テキスト、フォント、影・装飾
	8	デザイン基礎	配色・余白・視線誘導の操作
	9	制作①	Webバナー制作
	10	制作②	Webバナー制作、発表
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
<p>出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない</p> <p>対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator	指導担当者名	高橋 侑子
実務経験	フリーのグラフィックデザイナーとして10年以上のキャリア		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Illustratorの使い方を習得する</li> <li>・基礎や実践的なテクニックを習得する</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	デザインの学校 これからはじめる Illustratorの本		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	Illustrator基礎理解	環境構築、画面・ベクターとは
	2	illustrator基本操作	図形・色の操作
	3	パス操作	ペンツールの使用
	4	図形応用	図形の組み合わせ
	5	線と装飾	線・ブラシの使用
	6	文字の操作	テキストを操作
	7	レイアウト調整	配置・整列の操作
	8	デザイン基礎	配色・制作物の構成を考える
	9	制作①	ロゴ・アイコン制作
	10	制作②	ロゴ・アイコン制作、発表
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策Ⅱ	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 24 時間
学習到達目標	業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。		
評価方法 評価基準	各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 ITEC、TAC、インフォテック		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	2	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	3	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	4	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	5	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	情報処理技術者試験特別対策Ⅱ	指導担当者名	安齋 貴美子
実務経験	ソフトウェア開発会社にて開発業務に2年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	業者模試、過去問題により到達状況を把握し本試験合格を目指す。		
評価方法 評価基準	各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	情報処理技術者試験の過去問題 業者模試 iTEC、TAC、インフォテック		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	情報処理技術者試験特別対策	IPA過去問、業者模擬試験 弱点部分の解説を行う
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	開発特別対策Ⅱ	指導担当者名	山ノ井 靖
実務経験	ソフトウェア開発会社の代表としてソフトウェア開発業務に32年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 24 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う言語以外のプログラミング言語について、基本文法や開発環境の使い方を理解し、簡単なプログラムを作成できる。</li> <li>・練習問題を通して、仕様を読み取り、処理手順を考え、エラーを確認しながらプログラムを修正できる。</li> <li>・継続的な演習により、基礎的な開発力と自律的に学習を進める姿勢を身につける。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	最終制作物、各種試験を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	オリジナルテキスト		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画 前期	1	開発環境と基本文法の確認	授業では扱っていないプログラミング言語を題材に、開発環境の準備、実行方法、基本構文を確認する。短い練習問題を解きながら記述手順に慣れる。
	2	変数・条件分岐・繰り返しの演習	変数、条件分岐、繰り返し処理を使った基礎問題に取り組む。処理の流れを読み取り、条件に合うコードへ修正する練習を行う。
	3	関数・データ構造の演習	関数化、配列・リスト・辞書などの基本的なデータ構造を使った練習問題を解く。入力、処理、出力を分けて考える力を身につける。
	4	エラー対応とデバッグ演習	提示されたコードのエラー原因を確認し、修正方法を考える。実行結果、エラーメッセージ、変数の値を確認しながらデバッグの手順を練習する。
	5	機能追加・コード改善の演習	既存のサンプルコードに小さな機能を追加し、動作確認を行う。命名、処理の分割、読みやすさを意識してコードを改善する練習を行う。
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	開発特別対策Ⅱ	指導担当者名	山ノ井 靖
実務経験	ソフトウェア開発会社の代表としてソフトウェア開発業務に32年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	10単位(前8、後2)単位	総時間	150 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う言語以外のプログラミング言語について、基本文法や開発環境の使い方を理解し、簡単なプログラムを作成できる。</li> <li>・練習問題を通して、仕様を読み取り、処理手順を考え、エラーを確認しながらプログラムを修正できる。</li> <li>・継続的な演習により、基礎的な開発力と自律的に学習を進める姿勢を身につける。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	最終制作物、各種試験を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	オリジナルテキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	総合問題による理解確認	これまで扱った基本文法、関数、データ構造、デバッグを組み合わせた総合練習問題に取り組む。解答後に振り返りを行い、理解が不十分な点を確認する。
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職特別対策	指導担当者名	橋本 友子
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4 単位	総時間	120 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	就職に必要な知識、マナーの習得 業界の動向理解 就職内定		
評価方法 評価基準	就職活動実績、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナーテキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	企業研究、就職試験対策	説明会・採用試験に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験
	2	企業研究、就職試験対策	説明会・採用試験に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験
	3	企業研究、就職試験対策	説明会・採用試験に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験
	4	企業研究、就職試験対策	説明会・採用試験に参加しレポート提出、筆記試験、模擬面接試験
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	Web制作応用	指導担当者名	本田 昌秀
実務経験	システム開発会社にてシステム開発、ホームページ制作等の業務に10年間従事。独立後ホームページ制作・運用管理を10年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JavaScriptの基本的な役割や記述方法を理解し、イベント操作やアニメーションなどを用いてWebページに動きを加えることができる。</li> <li>・HTML・CSSによるページ構成やデザインを踏まえ、企画内容に基づいてユーザーに伝わりやすく操作しやすいWebページを制作できる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	制作物を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	1冊ですべて身につくJavaScript入門講座		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	JavaScriptに触れる	JavaScriptとは、JavaScriptでできること、JavaScriptを書く環境の準備
	2	JavaScriptの基本を学ぶ①	基本ルール、イベント操作、アニメーション
	3	JavaScriptの基本を学ぶ②	基本ルール、イベント操作、アニメーション
	4	企画	Webページの作成にあたり、企画の立案
	5	Webページ制作①	企画内容に基づいたページ構成の検討、HTML・CSSによる基本レイアウトの作成
	6	Webページ制作②	デザインの調整、画像・文字情報の配置、ユーザーに伝わりやすい画面構成の作成
	7	Webページ制作③	JavaScriptを用いたイベント処理や動きの追加、操作性を高める機能の実装
	8	Webページ制作④	各ページのリンク設定、表示確認、レイアウト崩れや動作不具合の修正
	9	Webページ制作⑤	制作物の仕上げ、内容確認、発表に向けた資料・説明内容の整理
	10	プレゼン発表	制作したWebページの発表、工夫した点・課題・改善点の説明
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD II	指導担当者名	丹治 順一
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に習得した3D-CADの基礎知識および操作技術を活用し、目的に応じたオリジナルの3Dモデルを設計・作成できる。</li> <li>・作成した3Dモデルを3Dプリンタで出力するためのデータとして適切に整え、造形につなげることができる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	2	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	3	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	4	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	5	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	6	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	7	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	8	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	9	3Dモデル制作、3Dプリンタ出力	オリジナルの3Dモデルを作る
	10	3Dプリンタ出力	3Dプリンタで出力し、作品を完成させる
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	3D-CAD II	指導担当者名	丹治 順一
実務経験	電気機器メーカーの設計部門で30年間従事		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	4(前2、後2)単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に習得した3D-CADの基礎知識および操作技術を活用し、目的に応じたオリジナルの3Dモデルを設計・作成できる。</li> <li>・作成した3Dモデルを3Dプリンタで出力するためのデータとして適切に整え、造形につなげることができる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	提出物、各種試験結果を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	Fusion 360 マスターズガイド ベーシック編		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	2	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	3	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	4	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	5	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	6	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	7	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	8	3Dモデル制作	オリジナルの3Dモデルを作る
	9	3Dモデル制作、3Dプリンタ出力	オリジナルの3Dモデルを作る
	10	3Dプリンタ出力	3Dプリンタで出力し、作品を完成させる
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ	指導担当者名	橋本 友子
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	前期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	40 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	採用内定		
評価方法 評価基準	各種課題の提出、就職内定の獲得		
使用教材	オリジナル教材		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	2	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	3	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	4	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	5	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	6	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	7	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	8	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	9	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	10	採用試験対策	説明会、採用試験を受験するための準備、面接練習
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

## 授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	橋本 友子
実務経験	-		実務経験: -
開講時期	後期	対象学科学年	情報システム科 2年
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ○ 実験: -
単位数	6 単位	総時間	200 時間 週時間数 20 時間
学習到達目標	学科の学習内容に沿った、卒業作品の制作・完成		
評価方法 評価基準	制作した内容のプレゼンテーションを行い評価 制作であるため成果物の出来不出来よりも途中経過を重視する テーマの難易度を教員が見定め、それに応じた評価を行う テーマの選定については教員がフォローし、そのテーマの中で難易度を調整する		
使用教材	オリジナルテキスト		
授業外学習の方法	レポートの作成		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	卒業制作の企画・テーマ決め	テーマを決め、企画書を作成する
	2	制作	テーマに沿った政策準備
	3	中間発表	テーマの発表・フィードバック、企画書の作りこみ
	4	制作	作品制作
	5	制作	作品制作
	6	中間発表	制作進捗確認、フィードバック
	7	制作	作品制作
	8	制作	作品制作
	9	制作	作品制作
	10	発表	制作内容の発表
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			